



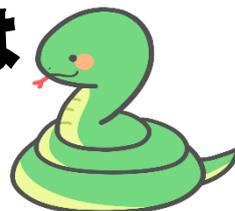
## 3学期スタート！さらなる成長を目指しステップアップ…

「おはようございます。」という子ども達の元気なあいさつで、3学期がスタートしました。冬休み中も子ども達の健康・安全にご配慮いただいた保護者・地域の皆様に心より感謝申し上げます。

3学期は、1年間の学習や生活を振り返り、成長を実感する学期です。自分の成長やまわりの成長、そして、その成長を支えてくださった多くの方々の存在に気づき、感謝の行動をとる「かしこさとたくましさ」のある子に育ってほしいと思っています。

さて、インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染者数が増加傾向にあり、岩手県は1定点医療機関当たりの感染者数が他県よりも多い状況が続いています。「学校が始まると感染者数が増える」と言われますが、3学期も基本的な感染対策の徹底を継続しながら、学びを止めないように努力してまいります。引き続き、学校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 2025 年は きのとみ 「乙巳」



今年は、十干の「乙(きのと)」と十二支の「巳(み)」が組み合わさった「乙巳(きのとみ)」の年です。

「乙」とは、「木」を表し、植物がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味合いをもっています。また、「巳」はヘビを表し、脱皮を繰り返し傷を治すことから、たくましい生命力をもつ神聖な生き物ととらえられています。

このことから、今年は「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年」であり、多くの人にとって、成長と結実の年になると考えられています。

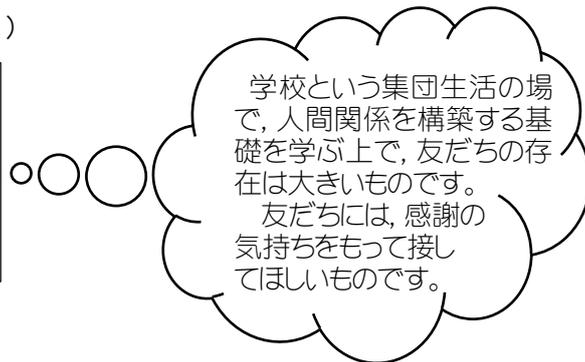
## 3学期に一人一人が意識して頑張してほしいこと…

3学期の始業式では、1年のまとめとなる姿をしっかりとイメージし、そのゴールに向かって努力すること、また、1年のまとめとして3学期に一人一人が意識して頑張してほしいことを話しました。

### 1 「友だちを大切にする」(感謝の気持ちを込めて…)

友だちがいるおかげで、こんなよいことがあるのです。

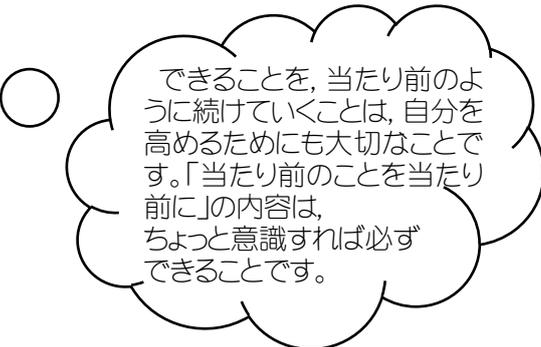
- 心が元気になる。
- 安心感を与えてくれる。
- 考えを深めたり、広げたりすることができる。
- 力を合わせてできることが増える。
- 人との関わり方の大切なことを学ぶ。



学校という集団生活の場で、人間関係を構築する基礎を学ぶ上で、友だちの存在は大きいものです。友だちには、感謝の気持ちをもって接してほしいものです。

### 2 「当たり前のことを当たり前にする」

- 「いつでも」「明るく」「相手より先に」「元気な」あいさつを響かせる。
- ていねいで優しい言葉遣いをする。
- 相手を思いやる心を大切にする。



できることを、当たり前のように続けていくことは、自分を高めるためにも大切なことです。「当たり前のことを当たり前にする」の内容は、ちょっと意識すれば必ずできることです。

全校の一人一人が、しっかりと意識して生活することで、さらにより良い生活へと変化していきます。一年のまとめという気持ちを持ち、さらなる成長を目指して頑張してほしいものです。

# 始業式：児童代表の作文発表

～ 児童会執行部代表 竹田 智咲さん ～

三学期に向けて

児童会執行部代表 竹田 智咲

みなさん、おはようございます。冬休みは楽しく過ごすことができましたか。家族と出かけたか、友達と遊んだり、充実した冬休みを過ごすことができましたことと思います。

いよいよ、今日から三学期が始まります。今年度の児童会スローガンは、「輝け！一人一人の笑顔」です。それにもとづき、一学期の生活を振り返ってみると、よかったところが二つあります。

一つ目は、運動会や学習発表会などの行事で、協力して取り組むことができましたことです。一学期はさまざまな行事がありました。その中でも、運動会での応援やさんさ踊り、学習発表会での演技や合唱など、みんなが協力しながら、成功に向けて取り組むことができましたと思います。

二つ目は、「感謝の木」の取り組みを通して、笑顔を増やすことができましたことです。家族や友達、先生方、スクールガードさんなどに向け、たくさん感謝の気持ちをもち、伝えることができました。また、普段伝えることができていない感謝の想いを、この取り組みを通して伝えることができましたと思います。

一方で、課題になっている点もありました。それは「あいさつ」です。あいさつ運動のときのみならず、あいつを見ていると、元気な声であいさつをする人もいますが、多くの人は声が小さかったり、会釈のみで声を出さなかったりしていました。あいさつは人と人とのコミュニケーションの基本だと思っています。三学期はぜひ、あいさつをよりよくしていきましょ。

また、三学期は一年間のまとめの学期です。六年生のみならず、みなさんは次の学年に向けて、これまでによくできたところはさらに高め、課題になっているところは三学期のうち克服し、まじめにふさわしい四三日間にしていきましょ。



# 情報機器の使用に関わるアンケート調査の集計結果について…

昨年11月から12月にかけて実施しました滝沢市児童生徒「情報機器の使用に関わるアンケート」へのご協力ありがとうございました。

今回のアンケートは、3年生以上の児童と全保護者の皆様を対象でしたので、児童は学校のタブレットを使用して回答し、保護者の皆様には、スマートフォンかPC等にて回答いただきました。

その集計結果が滝沢市教育委員会より届きましたので、お知らせいたします。なお、全質問項目の集計結果から注目してほしい内容や課題と思われる内容を取り上げたものを表にまとめました。

現代の情報化社会に対応し、インターネットを身近なツールとして使いこなしている子ども達ですが、気になるのは利用時間と日常生活への支障です。平日でも利用時間が2時間を超えていることや、それにより「遅寝・遅起き」で集中できない等の支障が出ていることは、改善の必要がありそうです。また、ほとんどの家庭でしっかりとルールを決めて利用させていることは、とても大切であると感じました。

冬休み前にも情報端末機器利用時のルール確認をお願いをしましたが、今回の集計結果をご覧になり、便利なツールとして上手に付き合っていくために、再度ご家庭で話題にしていいただければと思います。よろしくお願いいたします。

【「情報機器の使用に関するアンケート」滝沢小学校集計結果】

	回答者	児童 (450人)		保護者(311人)	
		人数	割合	人数	割合
家庭でインターネットを利用している		392	87%	246	79%
携帯電話・スマホを利用している		359	80%	200	64%
携帯電話・スマホは子ども専用である		209	46%	88	28%
携帯・スマホでどんな機能を利用しているか (上位3項目)	ゲーム	265	59%	148	48%
	音楽・動画視聴	244	54%	143	46%
	写真・動画撮影	230	51%	107	34%
平日の使用時間	1時間未満	152	34%	101	32%
	1時間～2時間	135	30%	96	31%
	2時間～3時間	86	19%	35	11%
	4時間以上	42	9%	13	4%
情報機器利用での日常生活への支障 (上位3項目)	寝る時間が遅い	69	15%	48	15%
	朝起きられない	39	9%	30	10%
	授業に集中できない	34	8%	8	3%
情報機器利用で家庭でのルールがある		326	72%	280	90%
家庭でのルール	勝手に課金しない	242	54%	205	66%
	利用時間制限	215	48%	213	68%
	アプリDR許可制	184	41%	195	63%
	利用場所を決めて	138	31%	145	47%
	個人情報書き込み不可	137	30%	126	41%